

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和元年11月15日（金）10時05分～11時05分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、知見主任安全審査官、松井安全審査官、

高松係員、山中係員、田上係員、長崎技術参与、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

平沢原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 担当3名 福島第一原子力発電所 担当7名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 1～3号機非常用窒素ガス分離装置本体の定期点検について、当該装置が系統隔離されることから、11月27日～29日の間、計画的に運転上の制限からの逸脱状態に移行して作業を実施予定。
 - 2号機周辺における雨水対策状況について、2号機タービン建屋下屋のガレキ撤去工事が10月31日に完了し、作業開始前より空間線量率が低下した。また、2号機原子炉建屋下屋のガレキ撤去工事については、現在モックアップによる作業訓練を実施しており、2019年度内にガレキ撤去作業を進める予定。
 - 1～4号機使用済燃料プールの水質状況について、実施計画に基づくサンプリング（3か月に1回）を実施し、pH、導電率、塩化物イオン濃度が引き続き管理値の範囲内にあることを確認した。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
 - 1号機使用済燃料プールの水質について、1号機オペレーションフロアでのガレキ撤去の際に使用している飛散防止剤の影響の有無
 - 使用済燃料プール水の透明度が号機によって異なる（例えば、3号機より1号機の方が濁っている）ように見える理由等について説明することを求めた。

6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所1～3号機非常用窒素ガス分離装置本体点検の実施について
- 2号機タービン建屋他雨水対策の進捗及び今後の予定（海洋汚染防止対策）
- 1号機燃料デブリ冷却状況の確認試験の結果（速報）について
- 使用済燃料プール水質状況について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2019年11月8日～2019年11月21日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2019年11月8日～20

19年11月14日)

- 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について